



SDGs × HOKKAIDO SEMINAR 2024

とき

1/22(月)
14:00~16:00

ところ

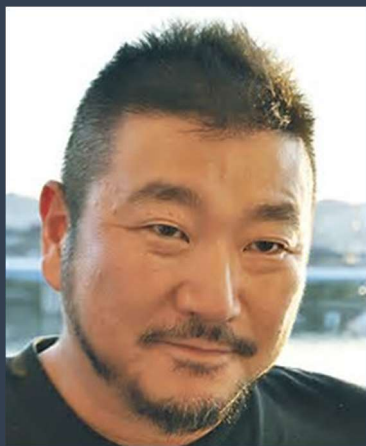
北海道大学
学術交流会館

札幌市北区北8西5 北大正門そば
※ハイブリッド開催 (Zoom)

基調講演 講師

株式会社ウエカツ水産 代表取締役

上田 勝彦 氏



元漁師、元水産庁職員という経歴の持ち主
現在は“魚の伝道師”として様々な形で
魚食文化の普及に尽力している

温暖化の影響による水産資源の現状から
未利用魚の有効活用方法、おいしいお魚の
食べ方まで幅広くお話いただきます



お問合せ先

北海道総合政策部
計画局計画推進課

TEL 011-206-6798
keikaku.suishin@pref.hokkaido.lg.jp

お申込み
はこちら
1/22(月)
正午まで



「SDGs×HOKKAIDO SEMINAR 2024」は北海道との包括連携協定に基づく取組の一環として、北海道大学及び JICA 北海道と開催するものです

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

プログラム

- 14:00 開会
- 14:10 基調講演「海・人・魚が共に生きる条件を考える
～日本の水産業にみられる持続性と非持続性」
株式会社ウエカツ水産 代表取締役 / 東京海洋大学 客員教授
上田 勝彦 氏
- 14:45 SDGs に関する取組発表
JICA 北海道 北海道大学大学院生 北海道剣淵高等学校生徒
- 15:30 パネルディスカッション
- 16:00 閉会

SDGs に関する取組発表

国際協力機構 JICA 北海道 村上 万龍 氏

テーマ 海外ボランティア体験談 in セントルシア



01

北海道大学水産科学院修士課程在学中に、同大学と JICA の大学連携ボランティア協定の下、JICA 海外協力隊としてセントルシアに派遣され、水産開発分野における業務に携わられたご経験に基づき、水産分野での研究や派遣先での活動等についてお話いただきます。

国立大学法人北海道大学

菅野 隼人 氏 (国際食資源学院)

テーマ 海の豊かさを育てよう!

小南 彩夏 氏 (水産科学院)

テーマ 海苔の持続的な生産を目指した新しい品種の開発



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

02

菅野氏からは、「大きさ制限」による漁業管理で、持続的な漁業生産の実現を目指すことをテーマとした研究についてお話いただきます。

小南氏からは、スサビノリの生産量増加に向けた遺伝子発現制御機構の解明とゲノム編集による新品種開発についてお話いただきます。

北海道剣淵高等学校 チーム名 未来のしんろ系列

テーマ 北海道発食文化のモデルづくり



北海道剣淵高等学校
HOKKAIDO KEMBUCHI HIGH SCHOOL

03

SDGs 目標 2「飢餓をゼロに」を達成するため、ウナギの代替食料として、ナマズを飼育・繁殖させる研究に取り組んでいる北海道剣淵高等学校3年次4名からなるチームです。

この研究は、2022 年度 SDGs Quest みらい甲子園 北海道大会においても企業賞を受賞しており、ナマズ・ドジョウを活用した食文化を町に生み出すことを最終目標と位置づけ、飼育環境の改善や餌となるミミズの繁殖を行うなど、研究の磨き上げに日々探究心を燃やす皆さんからお話いただきます。

パネルディスカッション

パネラー 上田 勝彦 氏 及び 取組発表者



社会課題と持続可能性について、世界の叡智が熟考を重ねて 2015 年にまとめたものが SDGs です。

国内外、道内の課題を理解し、解決のための研究、活動、事業を行っているパネリストの共通点を洗い出します。

そこには、気づきと行動、そして連携・協働 (パートナーシップ) があります。パネリストの活動を振り返り、その気づき、行動、連携・協働がどのように進められたかについて、確認していきます。そして、すべての人が今日から取り組める「Think Globally, Act Locally」について意見交換を行います。